

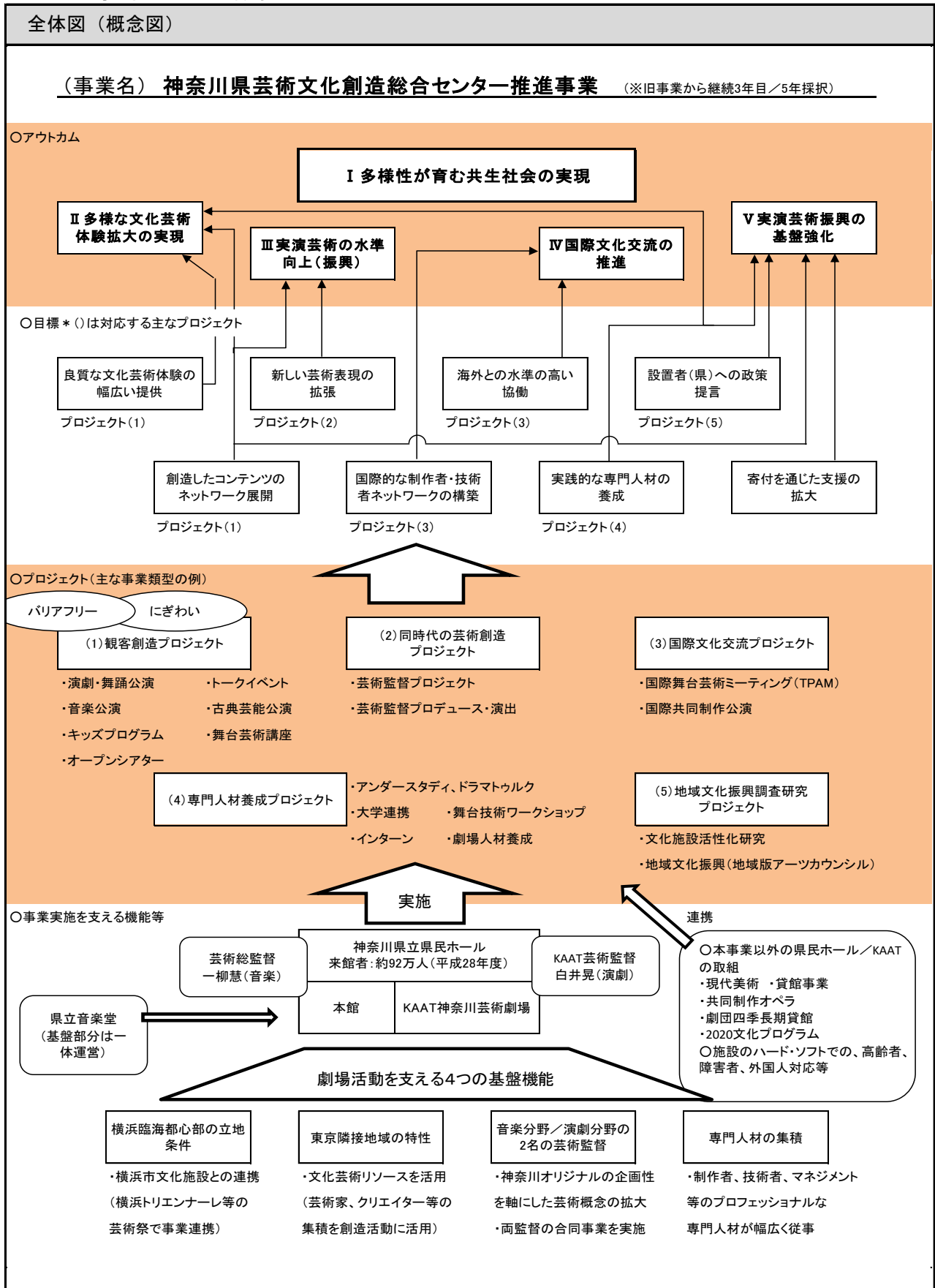
平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)

自己点検報告書

団 体 名	公益財団法人神奈川芸術文化財団
施 設 名	神奈川県立県民ホール (本館・KAAT神奈川芸術劇場)
助成対象活動名	神奈川県芸術文化創造総合センター推進事業
助 成 期 間	3 (年間)
内 定 額	60,755 (千円)

# 事業概要

## (1) 事業計画の概要



## (2) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	I 観客創造プロジェクト KAAT神奈川芸術劇場 プロデュース 「セールスマンの死」	2018年11月3日～18日	「セールスマンの死」 出演：風間杜夫、片平なぎさ、山内圭哉、菅原永二 演出：長塚圭史	目標値	6,750
		芸術劇場 ホール		実績値	5,925
2	I 観客創造プロジェクト まつもと市民芸術館 連携企画 串田和美「新作」	2019年1月26日～ 2月3日	「Mann ist Mann (マン・イスト・マン)」 出演：海老澤健次、大鶴佐助、小椋毅 近藤隼、安蘭けい、串田和美 脚色・演出：串田和美 企画監修：白井晃	目標値	600
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,262
3	I 観客創造プロジェクト ファンタスティック・ガラ コンサート2018	2018年12月29日	ファンタスティック・ガラコンサート2018 出演：松尾葉子(指揮)宮本益光(司会・バリトン)嘉目真木子(ソプラノ)澤原行正(テノール)上野水香、柄本弾(バレエ)	目標値	1,889
		県民ホール 大ホール		実績値	1,898
4	I 観客創造プロジェクト パイプオルガンプロジェクト ①オルガン・リサイタルシリーズ ②クリスマスコンサート	①2018年9月22日 ②2018年12月23日	①オルガン・リサイタルシリーズ 出演：近藤岳 ②オルガン・クリスマスコンサート 出演：エルワン・ル・プラド、青木早希	目標値	520
		県民ホール 小ホール		実績値	616
5	I 観客創造プロジェクト ①オルガン・プロムナード コンサート ②オルガン3館連携事業	①2018年4～3月 ②2018年10/26	①オルガン・プロムナードコンサート 出演：小田龍一郎、田宮亮 他 ②オルガン3館連携事業 出演：大木 麻理、イオ・パヴェル	目標値	2,600
		県民ホール 小ホール		実績値	3,036
6	I 観客創造プロジェクト 木ノ下歌舞伎 「摂州合邦辻」	2019年3月14日～17日	木ノ下歌舞伎「摂州合邦辻」 監修・補綴・上演台本：木ノ下裕一 上演台本・演出・音楽：糸井幸之介 出演：内田慈、田川隼嗣、土居志央梨、大石将弘	目標値	1,160
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	1,067
7	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 横浜バレエ・フェスティバル2018	2018年7月21日	横浜バレエ・フェスティバル2018 出演：小池ミモザ、菅井円加、近藤亜香 & チェンウ・グオ	目標値	1,700
		横浜市鶴見区民文化センター サルビアホール		実績値	1,574
8	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ「プティパ生誕200年記念ガラ」	2018年9月1日	東京バレエ団<プティパ・ガラ> 芸術監督：斎藤友佳理 出演：柿崎佑奈、ブラウリオ・アルバレスほか	目標値	1,831
		県民ホール 大ホール		実績値	1,680
9	I 観客創造プロジェクト 舞踊シリーズ 上野水香プロデュース「ジュエルズ・フロム・ミズカII」	2018年11月17日	「Jewels from MIZUKA II」 出演：上野水香、マルセロ・ゴメス、柄本弾他	目標値	1,519
		県民ホール 大ホール		実績値	1,652
10	I 観客創造プロジェクト オープンシアター2018 ①『ヘンゼルとグレーテル』 ②ワンコイン・コンサート	2018年6月3日	①オペラ「ヘンゼルとグレーテル」 指揮：沖澤のどか 演出：田尾下哲 ②ワンコイン・コンサート「オルガンとヴァイオリンフランス・パリでの出会い」	目標値	3,105
		①県民ホール 大ホール ②県民ホール 小ホール		実績値	2,505
11	I 観客創造プロジェクト キッズプログラム2018 「NEW OWNER」	2018年8月4日・5日	「ニュー オーナー -幸せを探して- NEW OWNER」 出演者・スタッフ等：ザ・ラスト・グレート・ハント	目標値	480
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	263
12	I 観客創造プロジェクト 舞台芸術講座 ①オペラ講座 ②チェンバロ講座	①2018年9月29日 ②2019年3月27日	①舞台芸術講座オペラ「アイダ」の魅力 講師：青島広志 ②舞台芸術講座 チェンバロの魅力VI 講師：大塚直哉	目標値	640
		県民ホール 小ホール		実績値	743
13	I 観客創造プロジェクト 芸術監督アーティスト・トーク	2018年6月2日、2018年11月17日	「SHIRAI's CAFE」 出演：白井晃 ゲスト：朝比奈尚行、阿部海太郎	目標値	400
		芸術劇場 アトリウム		実績値	300
14	I 観客創造プロジェクト 音声ガイドを取り込んだダンスのワークインプログレス	2018年5～9月	講師：平塚千穂子、牧原依里、岡野宏治、細馬宏通 出演：鈴木光裕、松沼雅之、振子ぴじん、田中みゆき	目標値	200
		芸術劇場		実績値	216
15	II 同時代の芸術創造プロジェクト 芸術監督プロジェクト	2019年3月9日、10日	「Memory of Zero」 音楽監修：一柳 慧 構成演出：白井 晃 振付：遠藤康行 出演：小池ミモザ、鳥居かほり、高岸直樹、引間文佳、遠藤康行 他	目標値	560
		県民ホール 大ホール		実績値	765

## (2) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
16	Ⅱ同時代の芸術創造プロジェクト 華氏451度	2018年9月28日 ～10月14日	「華氏451度」 演出：白井晃 上演台本：長塚圭史 出演：吉沢悠、美波、吹越満 他	目標値	7,000
		芸術劇場 ホール		実績値	5,829
17	Ⅱ同時代の芸術創造プロジェクト サンプル「グッド・デス・バイブレーション考」	2018年5月5日～15日	「グッド・デス・バイブレーション考」作・ 演出：松井周 出演：戸川純、野津あおい、稲継美保、板橋駿谷、椎橋綾那、松井周	目標値	1,400
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,724
18	Ⅱ同時代の芸術創造プロジェクト KAAT×地点「山山」	2018年6月6日～16日	KAAT×地点「山山」 出演：地点	目標値	980
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,190
19	Ⅱ同時代の芸術創造プロジェクト 「オイディプスREXXX」	2018年12月12日～24日	「オイディプスREXXX」 演出：杉原邦生 出演：中村橋之助、南果歩、宮崎吐夢	目標値	1,400
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	2,454
20	Ⅲ国際文化交流プロジェクト KAATダンスシリーズ2018 バレエ・ロレーヌ トリプルビル	2018年9月16日～17日	KAATダンスシリーズ2018 バレエ・ロレーヌ公演 出演：バレエ・ロレーヌ	目標値	700
		芸術劇場 ホール		実績値	1,329
21	Ⅲ国際文化交流プロジェクト KAATダンスシリーズ2018 Mathurin Bolze ダブルビル	2018年9月22日～24日	KAATダンスシリーズ2018 マチュラン・ボルズ公演 出演：Mathurin Bolze	目標値	210
		芸術劇場 大スタジオ		実績値	448
22	Ⅲ国際文化交流プロジェクト KAAT神奈川芸術劇場プロデュース『出口なし』	2019年1月25日 ～2月3日	「出口なし」 構成・演出：白井晃 出演：首藤康之、中村恩恵、秋山菜津子、白井晃	目標値	1,100
		芸術劇場 中スタジオ		実績値	1,293
23	Ⅲ国際文化交流プロジェクト 国際舞台芸術ミーティング in 横浜 (TPAM in Yokohama)	2019年2月9日～17日	ホセ・マセダ「カセット100」「5台のピアノ のための音楽/2台のピアノと4本の管楽器」イルワン・アーメット「暴力の星座」他	目標値	2,000
		芸術劇場 他		実績値	2,919
24	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 劇場人材能力開発プロジェクト 劇場運営マネジメントプロフェッショナル人材養成講座	2018年7月～2019年3月	シリーズ「これからのインクルーシブ社会と 公立文化施設の取り組み」/シリーズ「基本 を学びなおす」	目標値	80
		県民ホール他		実績値	92
25	Ⅳ専門人材養成プロジェクト インターン 公演制作（音楽、演劇）、舞台技術	2018年9月～2019年3月	・公演制作（音楽） ・公演制作（演劇） ・舞台技術	目標値	15
		県民ホール・芸術劇場		実績値	12
26	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 新しい才能の発掘育成プロジェクト プロフェッショナルアーティスト養成事業	2018年5月～2019年3月	・若手ダンサー育成プログラム ジュヌヌバレエYOKOHAMA ・若手演奏家推薦プログラム ・オーディション事業	目標値	40
		県民ホール他		実績値	26
27	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 演劇人養成プログラム	2019年3月	演劇人養成プログラム	目標値	5
		芸術劇場		実績値	1
28	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(東京藝術大学、洗足学園音楽大学他)	2018年5月～2019年2月	講師：荻野由美子	目標値	10
		県民ホール 小ホール		実績値	1
29	Ⅳ専門人材養成プロジェクト 大学との連携 (横浜国立大学)	2018年11月～2019年2月	講師：清水宏、安藤洋子、吉井澄雄 他	目標値	30
		芸術劇場、横浜国立大学		実績値	58

## (2) 平成30年度実施事業一覧

番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
30	IV専門人材養成プロジェクト 大学等との連携(昭和音楽大学:正規カリキュラムの寄付講座)	2018年11月~2019年1月	講師: 県民ホール・芸術劇場職員	目標値	5
		昭和音楽大学、県民ホール、芸術劇場		実績値	20
31	IV専門人材養成プロジェクト 劇場間人材交流事業	2018年12月~2019年2月	まつもと市民芸術館スタッフ	目標値	1
		芸術劇場		実績値	1
32	V地域文化振興調査研究プロジェクト 外 神奈川県立文化施設(県民ホール、KAAT)活性化計画プログラム	2018年5月~10月	有識者研究会の開催	目標値	20
		県民ホール 他		実績値	110
平成30年度の目標値、実績値				目標値	38,950
				実績値	41,009

**【妥当性】**

自己評価

事業計画に必要な構成要素が関連し、当初の予定通りに事業が進められているか。  
 「アウトカム」の発現に向けた「目標」を立て、その「目標」を達成するアクションプランとして「プロジェクト」を配置した。

- (1) 本事業計画が発現させたい5つの「アウトカム」  
 I 多様性が育む共生社会の実現                      IV 国際文化交流の推進  
 II 多様な文化芸術体験拡大の実現                V 実演芸術振興の基盤強化  
 III 実演芸術の水準向上（振興）

(2) 「アウトカム」を発現させるための8つの「目標」と5つの「プロジェクト」との関係性  
 ※1：「アウトカム」と「目標」の関係は◎で示したが、○=Iのアウトカムは、IIからVのアウトカムが総合的に達成されることにより実現される。  
 ※2：「⑧寄付を通じた支援の拡大」は、劇場の個別プロジェクトが達成するのではなく、劇場運営者の法人が達成すべきこととして整理している。  
 ※3：この関連に齟齬は生じていない。計画通りに進んでいる。

アウトカムの発現との関係性 ※1					目標		目標を達成するためのプロジェクト
I	II	III	IV	V			
○	◎			◎	①良質な文化芸術体験の幅広い提供	←	(1) 観客創造プロジェクト
○	◎	◎		◎	②創造したコンテンツのネットワーク展開		
○		◎			③新しい芸術表現の拡張	←	(2) 同時代の芸術創造プロジェクト
○			◎		④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築	←	(3) 国際文化交流プロジェクト
○			◎		⑤海外との水準の高い協働		
○	◎			◎	⑥実践的な専門人材の養成	←	(4) 専門人材養成プロジェクト
○				◎	⑦設置者（県）への政策提言	←	(5) 地域文化振興調査研究プロジェクト
○				◎	⑧寄付を通じた支援の拡大	※2	

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

○基本姿勢  
 ・設置者（県）からの指定管理料でも、従来型の文化施設としての基本活動はある程度は実施できる。  
 ・ただし、助成による資金が加わることで、県内外へのツアー公演や人材交流などの「波及活動」を充実させることや、芸術表現を追求する新作創造などに資源を充当することが可能になり、拠点文化施設としての活動が可能になった（創造活動や先進的な活動には「時間」「人材」「資金」が必要）。いわば助成を「地域の拠点施設としての使命」に充当している。  
 ・他方、科学技術の先端研究の分野と同様に、外部環境は変化し続けるため（社会課題への対応、映像技術の進化、オリパラ文化プログラムなど）、優れたコンテンツ（公演、人材養成、普及等のプログラム）を創出し続ける必要があり、「地域の拠点施設としての使命」を追求し続けることが必要。

○「波及活動」の成果の例 平成30年度分  
 県民ホール・芸術劇場で創作した演目のツアー公演地（19自治体）：大和市、鎌倉市、相模原市、世田谷区、西宮市、松本市、大津市、山口市、北九州市、久留米市、福岡市、益田市、長野市、江戸川区、京都市、水戸市、豊橋市、熊本市、東海市（順不同）

○新作創造などの成果の例 平成30年度分  
 地域の拠点施設としての使命（創作演目）：芸術監督プロジェクト「Memory of Zero」、みんなでたのしむオペラ「ヘンゼルとグレーテル」、「上野水香プロデュースバレエ Jewels from MIZUKA II」、「パリーターク」、「華氏451度」、「グッド・デス・バイブレーション考」、地点「山山」、北村明子 Cross Transit project「土の脈」、「セールスマンの死」、「Is it worth to save us?」、さわひらき×島地保武「silts-シルツ」、オイディプスREXXX、冬のカーニバル「Mann ist Mann（マン・イスト・マン）」、木ノ下歌舞伎「糸井版 摂州合邦辻」、「WAITING FOR THE SIGNAL!（信号待ち!）」、「グレーテルとヘンゼル」（共同制作含む）

## 【有効性】

### 自己評価

目標が達成し、アウトカムの発現は可能か。

「アウトカム」を発現させるため、以下①から⑧まで8つの「目標」を置き、その目標達成を助成対象事業（5つのプロジェクト）で達成することとした。その目標達成の進捗を以下の指標で確認した結果、下記のように有効であったと考える。

#### ①良質な文化芸術体験の幅広い提供

指標a：英語版ホームページの年間ページビュー数

指標b：子ども向けチケット販売数

・aは目標を達成したが、bは新演出や新作が多かったことなど若干親しみやすさを欠いたのか未達成となった。他方、補助対象外ではあるが共生社会をテーマにした事業を開始するなど体験機会の拡大に努めている。

#### ②創造したコンテンツのネットワーク展開

指標c：当劇場で創造した演目が他の劇場・音楽堂等で上演された演目数

・目標を達成した。

#### ③新しい芸術表現の拡張

指標d：芸術監督が主導して実施したプログラム数

・目標を達成した。集大成となる芸術監督プロジェクトを2020年度に予定。

#### ④国際的な制作者・技術者ネットワークの構築

指標e：国際舞台芸術ミーティング in 横浜（TPAM）の参加国数及び海外参加者数

・目標を達成した。

#### ⑤海外との水準の高い協働

指標f：海外の劇場・実演団体等との国際共同制作及び直接招聘の演目数

・目標を達成した。

#### ⑥実践的な専門人材の養成

指標g：新人・若手実演家の登用人数

指標h：若手中堅クリエイターとの協働による作品づくりの件数

・g及びhについて目標を達成した。

指標i：他劇場等からの職員研修受入（1ヶ月以上）

・共同制作に従事する相互交流もあったため、研修受入という名目では未達成となった。

#### ⑦設置者（県）への政策提言

指標j：県への提言文書提出数

・県の文化振興計画の改定に際して、県域の芸術団体等とも連携を図り、提言を提出した。

#### ⑧寄付を通じた支援の拡大

指標k：寄附者数及びその寄附金額

・クレジットカード決済による個人寄附の仕組みを導入するなど環境整備に努めたが、金額・寄附者数ともに目標未達成となった。

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

#### (1) 事業期間

本事業の応募時点で、既採択であった劇場・音楽堂等活性化事業（特別支援）の採択期間との整合に鑑み、平成30年度からの3カ年の事業計画として計画工程表を作成した。  
5つのプロジェクトの平成30年度の進捗状況を整理する。

- (1) 観客創造プロジェクト →計画通りに実施した
- (2) 同時代の芸術創造プロジェクト →計画通りに実施した
- (3) 国際文化交流プロジェクト →計画通りに実施した
- (4) 専門人材養成プロジェクト →計画通りに実施した
- (5) 地域文化振興調査研究プロジェクト →計画通りに実施した

※年度末までの期間で、変更申請を要する事業変更は生じなかった。

#### (2) 事業費（助成対象事業の支出）

平成30年度 当初 支出375,309千円、決算 支出314,857千円、予算決算差異60,452千円（16.1%）  
主な変動の要因として、文芸費等の増（9,328千円）、委託費の減（52,253千円）があった。委託費の減の理由は、主に経費節減の努力（※）による。

※価格競争を重視した調達手法による縮減効果や、好調なチケット販売に起因する広告宣伝費の減など

#### (3) 評価

- ・事業計画は工程表通り適切に進捗している。
- ・事業費は経費節減に努めるとともに、公益法人の会計ルールに則って適正に執行されている。
- ・地方公共団体が出資する第3セクターであり、かつ公益法人として運営されている財団による劇場運営のもと、当初の計画に沿って順調に事業が進行している。



## 【創造性】

### 自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性等に優れている（と認められる）か。

#### （１）専門人材と機能のリソース

当劇場が創造性の発揮を可能とする人材面のリソースとして、芸術監督の存在がある。財団の芸術総監督として日本を代表する作曲家である一柳慧（2018年文化勲章受章）、また芸術劇場では演出家・俳優として第一線で活躍する白井晃が芸術監督をつとめ、時代をリードするトップアーティストでもある両芸術監督の知見の下、創造性を発揮した事業群を展開している。

また、創作活動を技術面から統括する専門家であるプロダクション・マネージャーをはじめ、専門性の高い技術スタッフが職員として劇場に常駐するほか、設備面では自由度の高い舞台機構や客席設備を始め、稽古場、音響・大道具製作室等、アーティストやクリエイターの創作をサポートする環境が整っている。これらの専門人材と機能のリソースを最大限に活用した企画を、県民ホールと芸術劇場の双方の施設特性を活かした事業として計画立案し、順調に実施することができた。

#### （２）事業の創造性

公演事業では、平成28年度より実施してきた“芸術監督プロジェクト”として、30年度には“ダンス×音楽”をテーマに「Memory of Zero」を創作し初演した。一柳慧の音楽、白井晃の構成・演出、振付に遠藤康行、主演に小池ミモザ、演奏に板倉康明指揮の東京シンフォニエッタという世界的に活躍するスタッフ・出演者が、果敢に先進的な芸術表現に挑む上演となった。

その他、30年度は県民ホールと芸術劇場において、10作品以上の創作初演や新演出を実施するなど、年間を通じて多様な創造活動を行った。

人材養成事業においては、平成28年度より「劇場運営マネージメント プロフェッショナル人材養成講座」をスタートし、県内外の文化施設スタッフ等を対象に、社会課題を先取りするテーマの講座を実施している。特に施設のバリアフリーの諸課題に特化した講座シリーズは、受講者の期待度が高い。

普及啓発事業においては、鑑賞者拡大のための集客力のある公演事業の他に、「音で観るダンスのワークインプログレス」（視覚障害者に音声でダンスを鑑賞するツールを開発することを契機に、健常者もダンスを新しい観点から鑑賞することを提唱する手法の研究開発）を3年計画で実施するなど、先進性の高い取り組みも行っている。



「Memory of Zero」 ©Hidemi Seto

## 【創造性】

### 自己評価

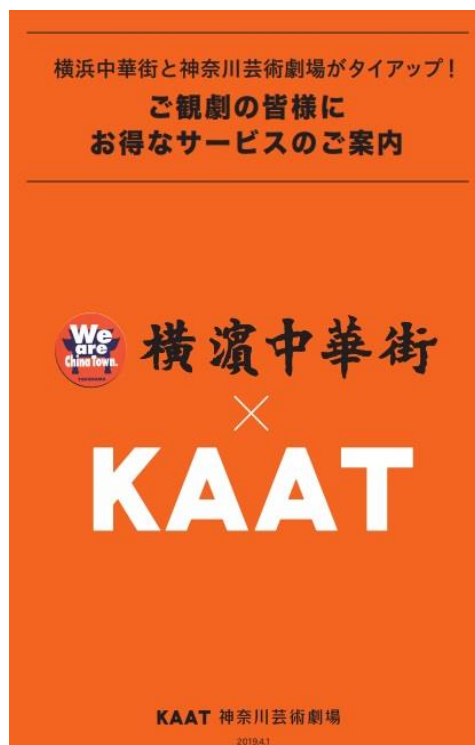
事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

#### （１）国内での評価

前述の「Memory of Zero」についてはマスメディアの注目も高く様々な露出があったほか、劇団地点との共同制作「山山」では新作戯曲が岸田國士戯曲賞を、「オイディプスREXXX」では作詞・ラップ指導の板橋駿谷が読売演劇大賞（優秀スタッフ賞）を受賞するなど、社会的な評価も獲得した。他地域の劇場との関係として、芸術劇場のプロデュース作品は国内各地からの上演要請が多くあり、30年度は「不思議の国のアリス」（劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業）の他、「華氏451度」「セールスマンの死」等がツアー公演を実現した。これらのことなどにより、当劇場の創造性は社会に広く訴求できたと考えている。

#### （２）ステークホルダーや地域の期待への対応

ステークホルダーとの関係としては、設置者である神奈川県からは指定管理者モニタリング評価として最高のS評価（平成29年度）を受けているほか、指定管理とは別の事業として、地域の文化資源等の調査業務の受託、共生社会の実現をテーマにした文化芸術の新しい取り組み「共生共創事業」を受託するなどしている。また、劇場が所在する横浜市とは、市が主催する大規模アートフェスティバル（ダンス、音楽、美術）に主体的に参画するなど協力関係にある。近接する商業地区とは、チケット提示による割引特典などエリアの回遊性を高める取り組みを行っており、近隣地域の期待にも積極的に応えている。



タイアップチラシの例

## 【持続性】

### 自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。  
持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

持続的な活動を可能にし、劇場機能を強化していくために、以下の取り組みを総合的に行っている。

#### （１）関係者ネットワークの強化

- ・毎年安定して新作公演をツアーや共同制作で各地へ巡回できる体制を整えることで、外部業者等に頼らない当団体独自の劇場間ネットワークを構築している。
- ・関係団体（県公立文化施設協議会、劇場・音楽堂等連絡協議会、公共劇場舞台技術者連絡会等）において中心的な役割を担うことで、作品の巡回だけでなく、運営ノウハウの共有や相互の人材交流などを積極的に行い、公演実施の質的な向上と連携関係の強化に繋げている。

#### （２）財源の多様化による持続性の強化

- ・指定管理業務のほかに、県の文化芸術に関する委託事業を、劇場が有する専門機能を活用するスキームで受託することで、県の文化政策に積極的に参画している。
- ・ミュージカルのロングラン公演の貸館を誘致することで、利用料金収入の安定化を図るとともに、収益の一部を文化事業へ充当するほか、貸館来場者に向けてロビーを活用した広報を行うなど、効果的な劇場運営に努めている。
- ・寄付金集めの専従担当者を置き、県内の企業及び個人を中心に賛助会員組織を運営しているほか、インターネットを通じた小口寄付の仕組みを整備し、寄付者の拡大を図っている。

#### （３）評価と改善

- ・設置者が行う専門家による外部評価のほか、法人独自の外部評価の仕組みを整備し、専門委員による視察と評価会議を開催し、課題抽出と業務改善を行っている。
- ・外部委員と劇場スタッフによる検討会を設置して、劇場運営についての理念やミッション等をまとめたビジョンを新たに作成し、劇場スタッフの行動指針として共有していくこととしている。

#### （４）雇用

- ・トップマネジメントの強い指導のもと、「働き方改革」に向けた取り組みを開始し、ワークライフバランスの取れた労働環境の創出に努めている。